

部局名 清花アテナ男女共同参画推進室



テーマ より一層安心して学べる環境を実現に向けた生理用品の設置・配布

特色ある取組

宮崎大学では、学生が必要なときに自由に使えるよう、女子トイレに生理用品を設置する取り組みを進めています。これは、経済的な理由などで生理用品の確保が困難な状況にある学生や、生理に伴う負担に悩む学生の支援を目的としたもので、医学部（清武キャンパス）の学生の利用頻度が高いトイレでスタートしました。

令和4年1月の設置以降、多くの利用が見られ、設置後に医学部学生を対象に実施したアンケート調査では、男性も含む回答者の89.5%が「設置を継続したほうがよい」と回答するなど、学生からも好評を得ています。

期待できる成果・評価

本取組は生理用品を必要とする学生を支援するものですが、アンケート実施等を通じて、これまでタブー視されていた「生理」について性別を問わずオープンに話し合うきっかけとなることが期待できます。

医学部での取り組みを受け、すでに他学部でも生理用品設置の動きが進み、全学的な取組として広がっています。このように、生理用品もトイレトペーパーと同様にトイレ内の必需品として配置されることを目指し取組を推進していく予定です。このことにより、すべての学生にとってより学びやすい環境の実現につながることを目指します。

※令和3年6月からは、希望する学生に対して宮崎県男女共同参画センターから提供を受けた生理用品を無償で配布する取組も行っています。



医学部講義棟の女子トイレ内に設置された生理用品
状況に応じて選べるよう2サイズを準備

清花アテナ男女共同参画推進室
ホームページ



<https://www.miyazaki-u.ac.jp/kiyohana/>